



2010年度第3四半期 決算説明会

2011年2月4日



免責事項

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

為替相場の変動

当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ



ハイライト

3Q累積 売上 784億円 営業損益 54億円

3Q 売上 318億円 営業損益 4億円

- 3Q黒字回復 8四半期ぶり
- 受注水準(日工会公表ベース)100億円強/月に
- 生産性改善継続、生産台数増加
- Xクラス受注好調 本格量産開始
- DMG協業 グローバル生産体制へ

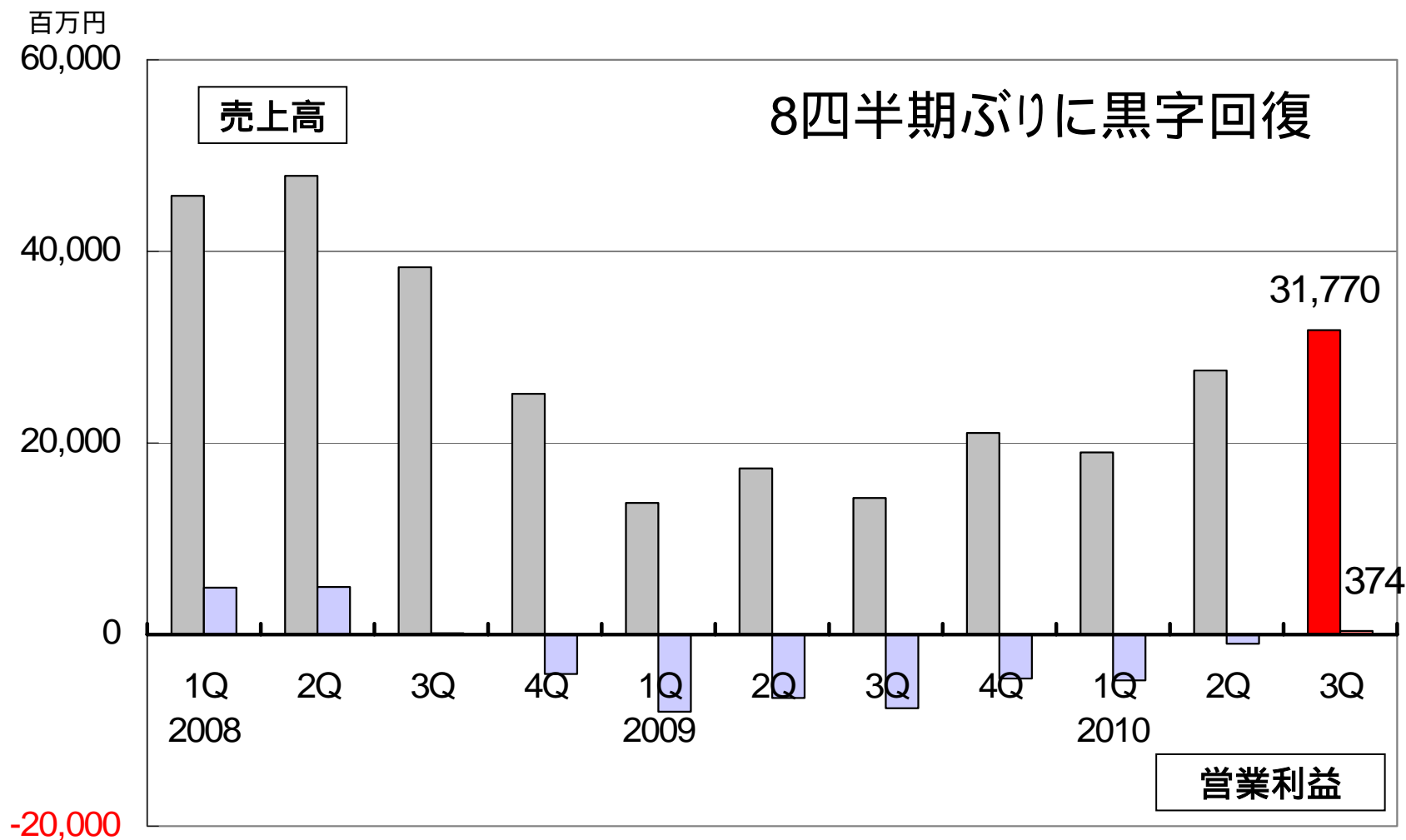
(百万円)	FY2009			FY2010		
	上期	3Q累積実績	通期	上期実績	3Q累積実績	通期予想
売上高	31,090	45,350	66,402	46,590	78,360	120,000
営業利益	-14,656	-22,343	-26,933	-5,740	-5,366	1,000
営業利益率	-47.1%	-49.3%	-40.6%	-12.3%	-6.8%	0.8%
経常利益	-14,885	-22,342	-26,599	-6,305	-6,032	1,000
経常利益率	-47.9%	-49.3%	-40.1%	-13.5%	-7.7%	0.8%
四半期純利益	-15,744	-23,466	-34,693	-6,108	-5,895	1,000
換算レート (1 USD= **円)	95.5	93.6	92.8	88.9	86.8	86.4
換算レート (1 EURO= **円)	133.2	133.0	131.2	113.8	113.3	112.5

3Q実績(1US\$=82.6円、1EURO=112.3円)

4Q見込(1US\$=85.0円、1EURO=110.0円)



連結売上・営業利益実績





連結貸借対照表

2010/12/31 Total 153,258

2010/3/31 Total 144,166

単位: 百万円

現金及び預金 6,921	買掛金 10,521
売上債権 22,668	借入金 33,320
棚卸資産 37,709	その他流動負債 11,967
その他流動資産 8,224	固定負債 7,920
有形固定資産 54,299	純資産 89,530 (内 株主資本) 89,157 (内 その他) 373
その他固定資産 23,437	

現金及び預金 7,516	買掛金 6,087
売上債権 16,665	借入金 18,550
棚卸資産 33,059	その他流動負債 12,929
その他流動資産 5,493	固定負債 7,882
有形固定資産 57,657	純資産 98,717 (内 株主資本) 97,271 (内 その他) 1,446
その他固定資産 23,776	

Net Debt 26,399
ND/Equity 29.6%
自己資本比率 56.7%

Net Debt 11,034
ND/Equity 11.3%
自己資本比率 66.8%

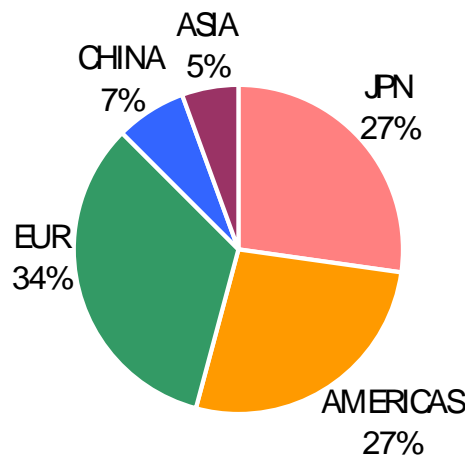


連結地域別売上高

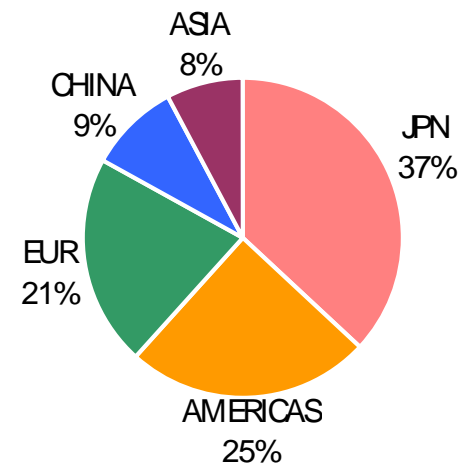
据付地ベース



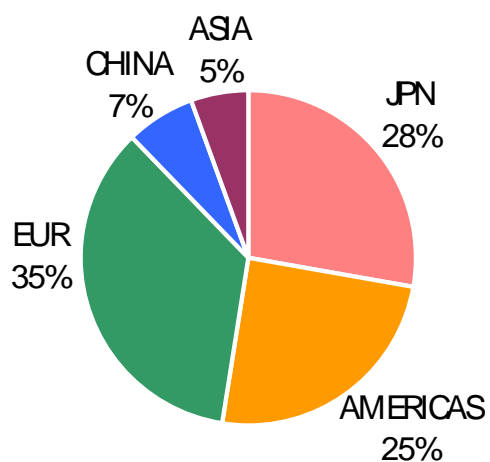
FY2009 3Q累積(4-12月)



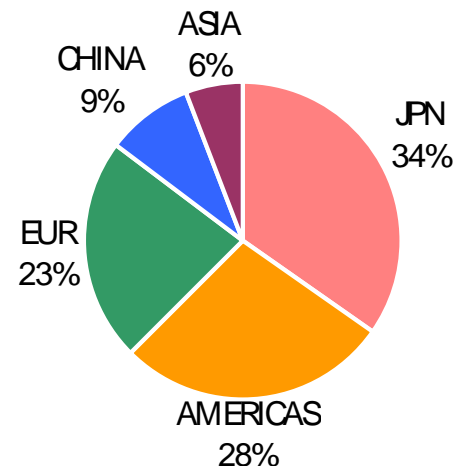
FY2010 3Q累積(4-12月)



FY2009 3Q(10-12月)



FY2010 3Q(10-12月)



Americas=USA、カナダ・メキシコ・アルゼンチン・ブラジル EUR = ロシア・アフリカ・中近東含む

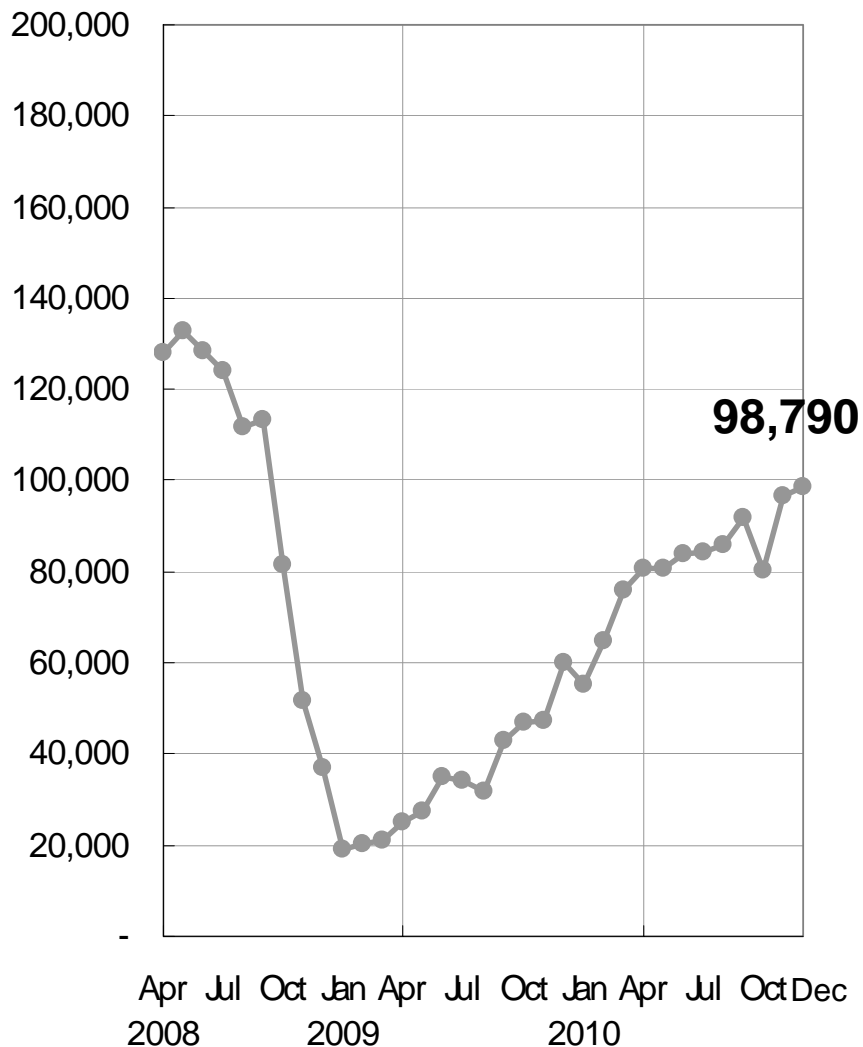


日工会/森精機受注状況



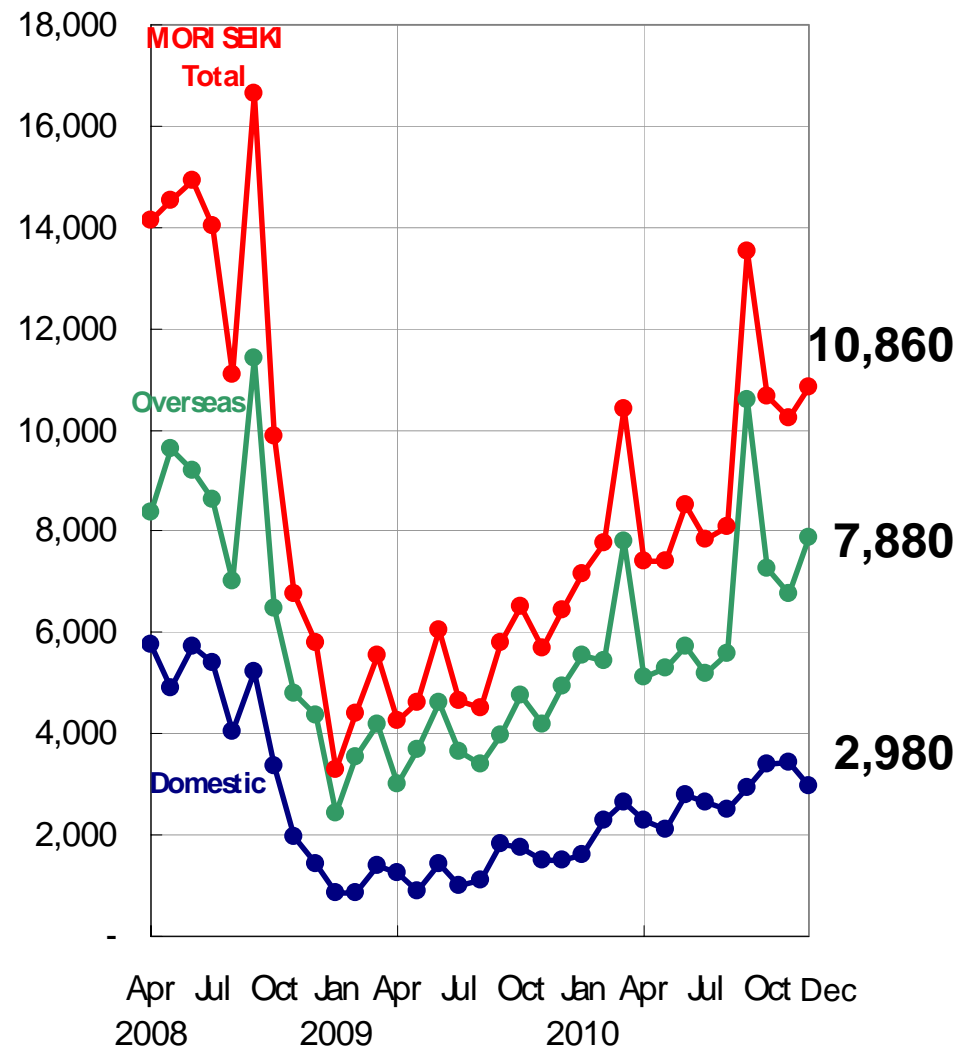
百万円

日工会受注状況



百万円

森精機受注状況

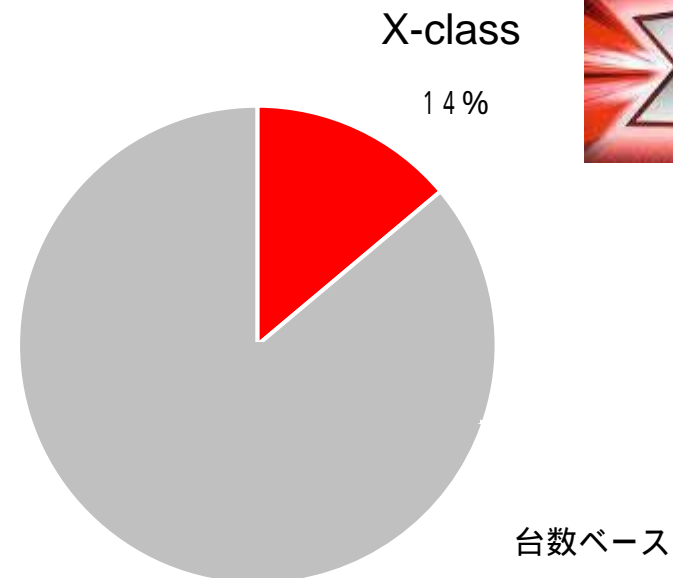




X-class好調



FY2010 3Q(10 - 12月)受注に
占めるXクラスの構成比率



旋盤

立形マシニングセンタ

横形マシニングセンタ

複合加工機



NLX 2500/700



NVX5000



NHX4000

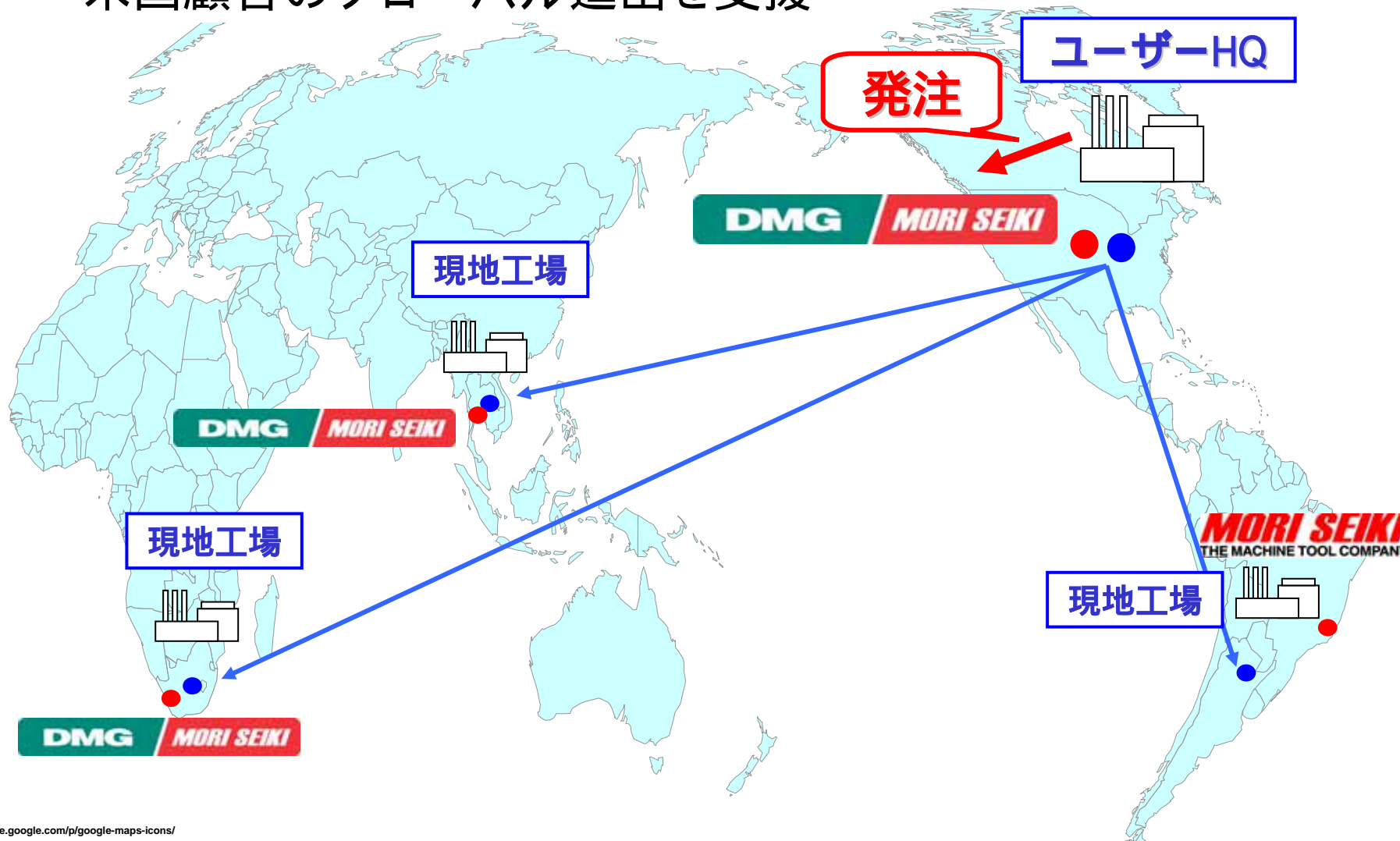


NTX2000



グローバルアカウント好調

米国顧客のグローバル進出を支援



<http://code.google.com/p/google-maps-icons/>



大型超高速5軸加工機 NMB

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

NMB36100

2011年1月 2台出荷

(アメリカ/航空関連主要部品切削向け)



NMB36100



中国売上 拡大へ

高品質を求めるユーザー層が拡大

森精機 上海HQ



DMG 上海工場

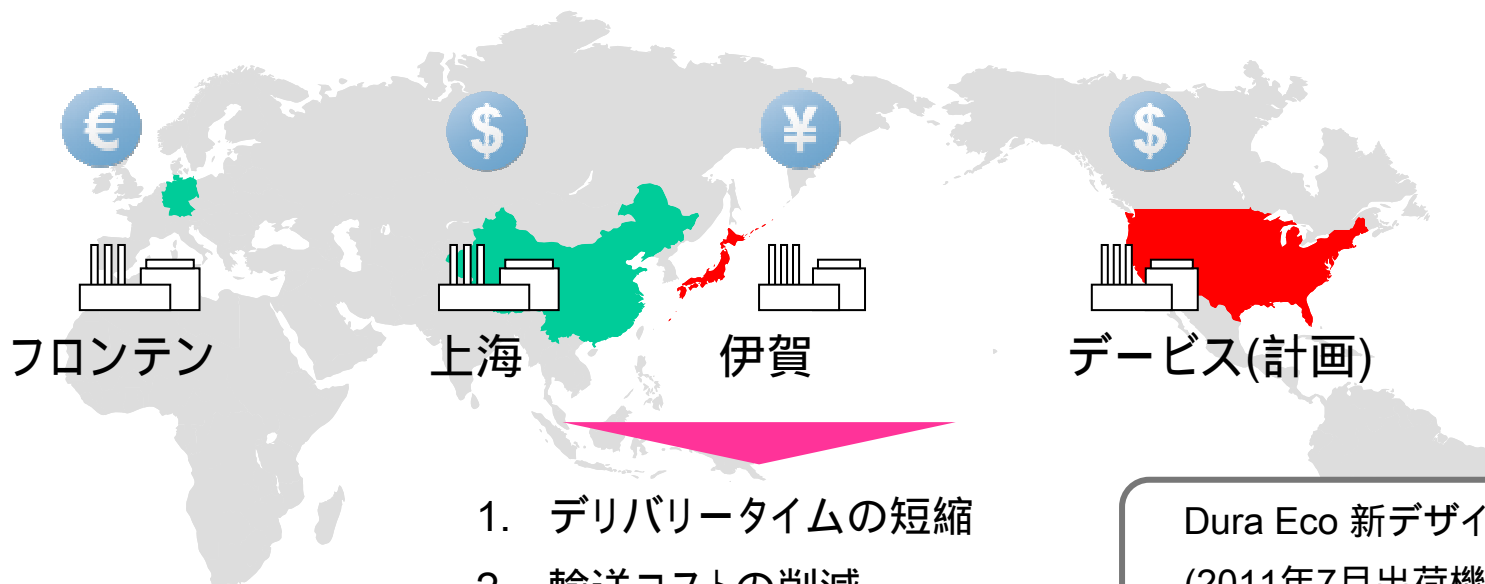




- 森精機 既存テクニカルセンタ

【工場建設概要】

所在地	: アメリカ合衆国 カリフォルニア州デービス市
敷地面積	: 約89,000m ²
操業予定	: 2012年7月
総投資額	: 約50億円
生產品目	: X-class
生産能力	: 80台/月
従業員	: 200名



1. デリバリータイムの短縮
2. 輸送コストの削減
3. 為替リスクの軽減



NHX4000



DuraTurn 310eco



DuraVertical
635eco

Dura Eco 新デザイン案
(2011年7月出荷機より)





DMG Pfronten 展示会



日時: 2011 年2 月1日 ~ 5 日

場所: DECKEL MAHO Pfronten GmbH

展示機種:
森精機

NHX4000
NVX5080
NLX2500MC / 700
NZL2500Y / 600
CTX delta 4000 TC
CTX alpha 450 TC

DMG/MORISEIKI



DMU 60 / 80 eVo linear



CTX delta 4000 TC



CTX alpha 450 TC



NHX4000



伊賀展示会 イノベーションデー "X Class & DMGショー"

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

日時 : 2011年2月10日 ~ 12日

場所 : 森精機製作所 伊賀事業所

展示機 : 31台(予定)
うち新機種11台
DMG機 6台

受注目標 : 90台 16億円

予想来場者 : 5,000名



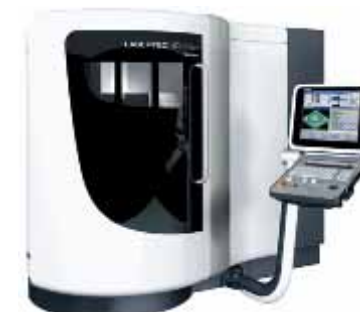
NLX2500SY/700



DMU50 eco



DuraTurn 310eco



LASERTEC 40 Shape

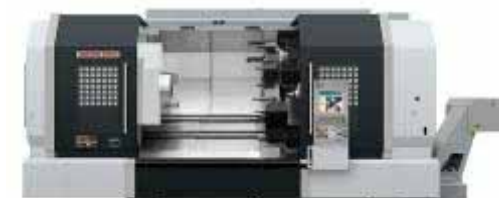


4Q発表機種

	受注開始
NTX2000/1500	2011年1月
NZL6000	2011年2月
NMH5000	2011年3月



NTX2000

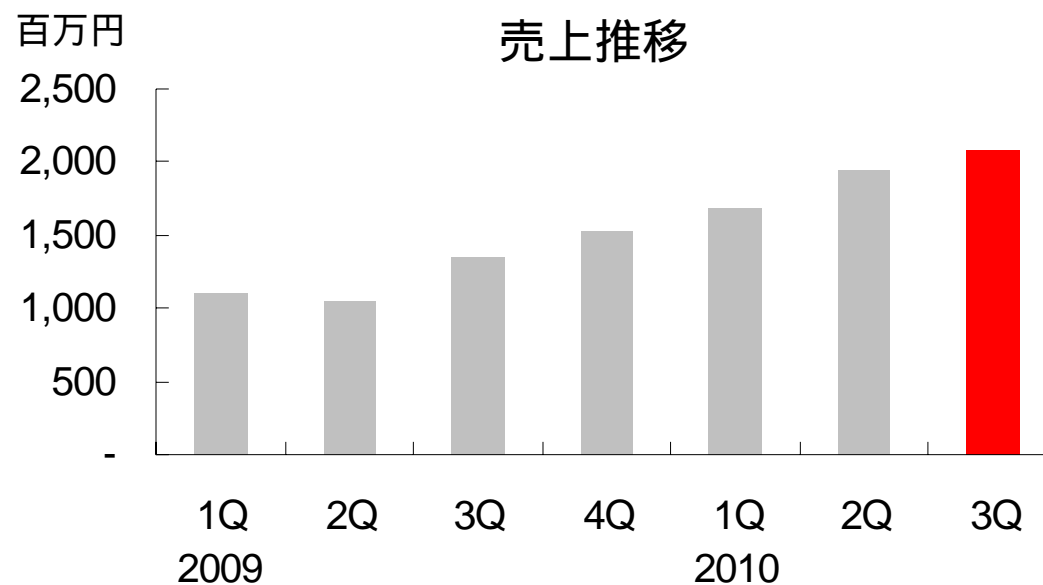


NZL6000



NMH5000

- ・3Q 売上、増加基調
営業利益、2Qに引き続き黒字
- ・2010年度売上目標75億円に向けて、予定通り進捗
- ・RS87 薄型回転スケール販売開始
工作機械メーカーからの引き合い多数
- ・森精機向け出荷数増大(横形MC NHXに標準搭載)



RS87 薄型回転スケール





次期中期経営計画の位置づけ

FY2005-2007

Mori-568Plan

【グローバル市場拡大】

Mori-5:

- ・重要顧客開拓
- ・海外TC拠点の拡充

Mori-6:

- ・内製化による技術優位追求

Mori-8:

- ・能力拡大投資
- ・セル生産促進で効率追求

FY2008-2010

PQR555

【経営品質の強化】

P: 人材育成強化

- ・TOEIC、技能ポイント向上

Q: 品質強化

- ・精度向上、PPR改善

R: リスク管理の徹底

- ・輸出管理体制の強化、BCP

5: 成長の持続

55: 収益構造の強化

FY2011-2013

【超ハイテク技術追求】(仮)

・顧客第一主義を徹底

超ハイテク機能と感動を提供
顧客Value-Chain満足向上

・強い工場、強い販売の実現

製品・事業所・地域ごとの
価値明確化

・一桁違う品質の達成

・DMGとの協業強化

・Value-Shiftの開始

(百万円)	2009年度3Q累積	2010年度3Q累積		2010年度通期 (予想)	
				(前期比 伸び率)	(前期比 伸び率)
売上高	45,350	78,360	72.8%	120,000	80.7%
国内売上高	12,349	28,864	133.7%	43,000	125.3%
海外売上高	33,001	49,496	50.0%	77,000	62.7%
米州	12,155	19,352	59.2%	29,500	69.6%
欧州	15,146	16,759	10.6%	27,800	35.1%
アジア (中国含む)	5,699	13,384	134.8%	19,700	110.9%
営業利益	-22,343	-5,366	-	1,000	-
経常利益	-22,342	-6,032	-	1,000	-
当期純利益	-23,466	-5,895	-	1,000	-
為替レート 1US\$ =	¥93.6	¥86.8	-	¥86.4	-
1EUR =	¥133.0	¥113.3	-	¥112.5	-
設備投資	5,321	3,055	-42.6%	5,000	-26.5%
減価償却費	5,408	4,900	-9.4%	6,700	-7.7%
研究開発費	4,377	3,758	-14.1%	5,000	-11.2%



アナリスト説明会のQ&A

Q: 第2四半期から第3四半期への利益増減要因を教えてください。

A: 外注や残業の増加によるコストアップが一部あったが、
売上規模の増加により、営業利益は8四半期ぶりに黒字化できた。

Q: 第3四半期から第4四半期への利益増減計画を教えてください。

A: 売上規模の増加や生産量の増加、売価レベルのアップにより利益を伸ばして行く予定をしている。

Q: 生産の動向はどうか。

A: 一部部品に遅れが残っているが、コンスタントに月産400台以上生産できる体制になってきた。
相当生産性は回復して来たと考えており、今後もさらに月産台数は拡大していく見込み。

Q: アメリカ工場について

A: DMGのヨーロッパ工場、上海工場と合わせて、グローバル生産体制を強化する。
リードタイムの短縮、輸送コストの低減、為替リスクのヘッジが目的である。
特に輸送コストの低減効果は大きいと考えている。



アナリスト説明会のQ&A

Q: 中国市場について

A: お客様の考え方が変わってきている。

高付加価値の機械を導入したり、自動化をはかったりという形にシフトしてきており、今後当社製の機械がより受け入れられる市場になってくるので、当社もさらに力を入れていく。

Q: 今後のマーケットの見方を教えて欲しい。特に、足元数字の強い欧州はどうか。

A: 欧州は、ユーロ安もあり、特にドイツが好調。航空機、油圧機器などが需要の中心である。

そのほか、イタリア、UK、フランス、トルコなども良い。

米国は、自動車やエネルギー関係が好調、米国以外の米州も、ブラジルはじめ環境は良い。

中国は、相変わらずインフラ関係が好調である。

インドは、我々の販売体制も強化してきたので、さらに受注が強くなってきている。

日本は、引合いがあっても、海外据付案件が増えてきている。

Q: 来期の見通しは

A: 日本やドイツ、アメリカの工作機械工業会は、今期に対し、来期は10～15%程度の伸びをみている。

当社でもそれ以上の伸びを実現したいと考えている。

(回答者: 取締役社長 森 雅彦、取締役副社長 経理財務本部長 近藤達生)



MORI SEIKI

THE MACHINE TOOL COMPANY